



No.5 / 39

有脇小学校校長だより

2020・7・3

今度は人の命も守る



6月30日に学校保健委員会が開かれ、6年生が参加し、救命救急について学びました。初めに健康委員会が実施したアンケート調査を基に、救急車の呼び方やAEDの設置場所等について、子どもたちの実態を発表しました。後半は、半田市立半田病院から来てくださった5人の看護師さんの指導のもと、初めに動画を使って「命の尊さ」を学び、その後「胸骨圧迫の仕方」と「AEDの使い方」を実際に行って学びました。

わたしは「自分の命は自分で守る」と子どもたちに話しています。災害時、交通安全、病気の予防等、自分の命を自分で守る場面はたくさんあります。今回はさらに「人の命も自分が守る」なのです。目の前に人が倒れている場面に遭遇したときどうしますか。胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方を知っているかいないかで、その人が助かるのか助からないのかが分かれてしまうのです。倒れた人に近づき、まず意識の確認をし大声で人を呼び、119番通報とAEDをもって来るように頼み、心臓を探し胸骨圧迫を1分間に約120回行い、胸骨圧迫を続け、疲れたら交代しながら救急車の到着を待つ。子どもたちは「人の命も自分が守る」ということを学びました。本当に貴重な体験をさせていただきました。

うれしかったことがあります。有脇小学校6年生が半田病院の看護師さんたちにすっごく褒められました。「真剣に、真面目に取り組んでいました。どの子もです。」「とても素直で何でも一生懸命でした。」とおっしゃっていました。当たり前のことですが、有脇小6年生は、今がどういう場面なのかをしっかりと想像して取り組んでいました。その後、健康委員会の子どもたちがまとめとして実演をしました。とてもスムー

ズで見事な対応でした。最後に感想を二人の男子が発表しました。とても素直な共感できる感想でした。昨年8月に心臓カテーテル手術を受けているわたしは「この子たちがいつでも助けてくれる」と確信しました。この6年生なら、有脇小学校をしっかりと引っぱっていってくれると強く感じました。



↑ 令和2年の役員のみなさん



6月26日会場を体育館とし第3回PTA全員委員会を開きました。コロナ禍の影響で、本年度は行事が思うようにできません。区民運動会や保護者学級が中止になり、委員のみなさんに活躍いただく場面が激減してしまいました。そんな中「消毒手伝うよ」「草刈りするよ」と声をかけてくださいました。消毒作業は、毎日行っています。除草作業は夏の親子除草や説明会後の除草が中止になってしまいました。どちらも人手がほしい作業です。大変ありがたい言葉でした。有脇小学校には力強いPTAのみなさんがいてくれるんだと実感しました。お手伝いしていただける方の募集は、7月2日配布のプリントをご覧ください。ぜひご協力ください。



夏が近づきもう7月です

1年生が1階廊下の掃除をしています。6年生がお手伝いに来ています。ほうきやちりとの使い方、ぞうきんのかけ方、洗い方など丁寧に教えています。こうして受け継がれていくんですね。教え方も『手取り足取りタイプ』『褒めて育てるタイプ』『後ろ姿から学びなさいタイプ』と内容は豊富です。すてきな有脇小学校の伝統ですね。